

# クリスマスについて知ろう♪

12月といえばクリスマスですね。サンタクロース、クリスマスツリーなど、クリスマスにおなじみのものに関するちょっとした知識を紹介します。

## サンタクロースについて

サンタクロースのモデルとなったのはニコラスというキリスト教の神父であり、次のような逸話が元となっています。

—小アジア（今のトルコのあたり）のミラという町に、貧しくて娘を嫁に行かせることができず困っている人がいました。そのことを知ったニコラス神父は、その人の家に煙突から金貨を投げ入れました。そのおかげでその人は娘をお嫁に行かせることができるようになりました。

その後、ニコラス神父はセント・ニコラスと呼ばれるようになり、それがなまって「サンタクロース」になったと言われています。

ちなみに、ニコラス神父が金貨を投げ入れた際、偶然にも暖炉の傍につるしていた靴下の中に入ったことからクリスマスのプレゼントを靴下の中に入れる習慣ができたと言われています。

### さまざまなサンタクロース

良い子にはプレゼントをあげ、悪い子にはお仕置きをするサンタクロースもいます。また、サンタクロースではなく、「クリストキント（幼子キリスト）」がやってきてプレゼントをくれる場合もあります。



## ツリーオーナメントについて

ツリーについているオーナメント（飾り）には、一つ一つ意味があります。ここでは、クリスマスシーズンによく見るオーナメントについて、その意味や起源を紹介します。

### ツリーの起源

ヨーロッパには冬至の日に、魔よけとしてモミなどの常緑樹を飾っておく習慣がありました。これが現代のクリスマスツリーの原点となっています。

#### トップスター

キリスト生誕時に輝き、賢者、王、学者の3人をキリストが生まれた地へ導いた星を表します。「ベツレヘムの星」などとも呼ばれています。

#### 玉飾り

元々はりんごを飾っていました。エデンの園の禁断の果実がモチーフ。愛と豊穡の象徴です。

#### お菓子

神様の恵みの象徴。欧米ではしばしばツリーの飾りとなっています。

#### キャンドル（電飾）

救世主であるキリストがこの世にもたらす光の象徴を表します。

#### ベル

冬至の日に厄払いの道具として用いられていたものの名残です。



## クリスマスに関する豆知識

### クリスマスは元々12月25日ではなかった？

元々、イエス・キリストの誕生を祝う日は1月6日でした。ローマ帝国にキリスト教が導入されたのち、12月25日に祝われていた太陽神の祭や北欧の冬至祭と融合して一つのお祭りとなり、4世紀ごろから12月25日をクリスマスとして祝うのが一般的になりました。

### 日本で最初のクリスマスは戦国時代？

クリスマスの文化が日本に入ってきたのは、戦国時代の1549年にフランシスコ・ザビエルがキリスト教を布教するために日本にやって来た時です。3年後の1552年に、日本で最初の「クリスマス・ミサ」が行われたという記録が残っています。

はみだし  
すてーじ

お前たちっ、クリスマスの準備はいいか!?  
⇒ツリーよし。サンタよし。靴下よし。準備万端です!

(農・4 ちょこ)  
(あ……でも、一緒に過ごす人がいないじゃないか;編)

はみだし  
すてーじ

私って天然ボケですか？ そもそも天然ボケって何ですか？  
⇒それらは、天然ボケの人なら一度は必ず抱く疑問です。

(医・2 なおみん)  
(投稿者様とは気が合いそうです;編)